

ふるさと



町花：山百合

議会だより

9月定例会

No.141

平成29年10月20日

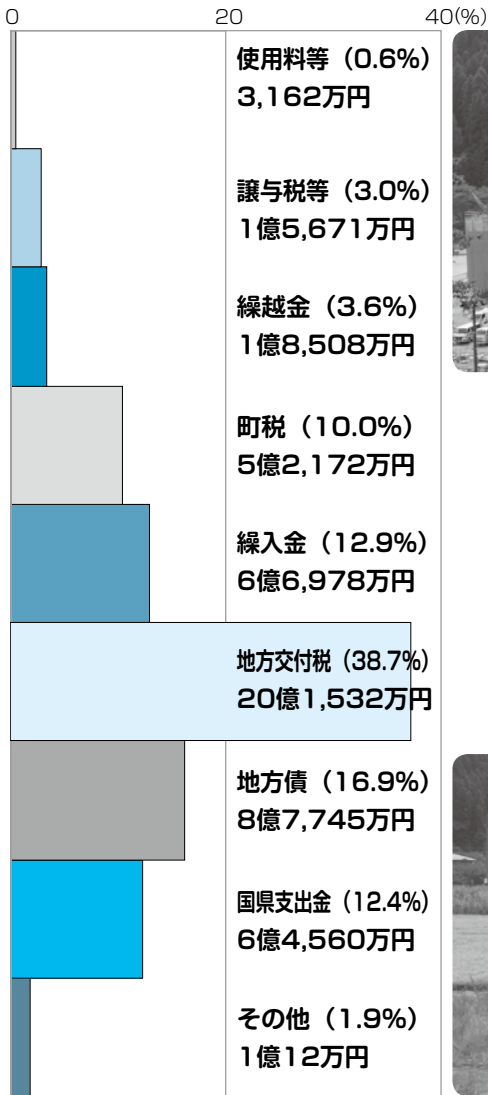
平成28年度会計の決算を認定	2
税金等の滞納額と貯金・借金	5
一般質問 町民福祉など6議員が12問	10
追跡レポート：ふるさと納税制度の活用	17



とっても じょうずに おどれたよ 子ども園運動会



69億7,052万円を認定



主な事業



町民第1体育館建築事業
(平成28・29年度継続事業)



町公民館改修事業
(平成27・28年度継続事業)



中山間地域総合整備事業
(ふるどの東地区)

9月定例会は、9月8日から14日まで、7日間の会期で開催されました。平成28年度各会計の決算認定、教育委員会委員や人権擁護委員の人事案件を含む25議案が提出され、原案のとおり可決しました。

歳入合計
52億340万円

決算の意義

議会が決めた予算が適正に執行されたかを審査するとともに、行政効果を住民に代わって評価するもの。

(議員必携より)

決算審査意見

代表監査委員 薄井憲一
監査委員 鈴木一郎

平成28年度の決算は一般会計、各特別会計とも黒字決算となり、健全財政を堅持した。一般会計の決算の特徴としては、歳出総額で前年度比10・1%にあたる4億4377万円の増額となった。これは、町民第1体育館建築工事、公民館改修工事が大きな要因である。今後も福祉施設等の整備計画もあり、多くの費用を要する事業があるので、中長期的な財政計画と財源の確保に努められたい。

全国各地で最近、異常気象による大雨等で甚大な被害が発生しているため、災害時に備えた避難訓練・防災訓練を実施すべきである。非常食についても計画的に備蓄し、町民が安心して暮らせる体制づくりをしていただきたい。

平成28年度総決算額

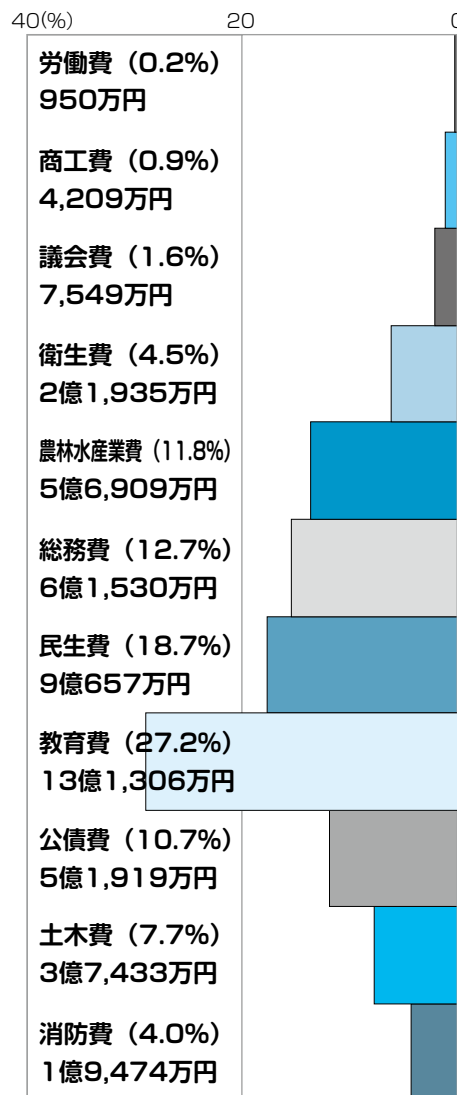
有害鳥獣被害防止対策事業
電気柵設置の助成等



町道整備事業



放課後児童クラブ運営事業



歳出合計

48億3,871万円

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	収入未済額 (滞納額)	採決の結果	
一般会計	52億340万円	48億3,871万円	3,543万円	認定(9対2)	
特別会計	国民健康保険	7億7,974万円	7億2,984万円	4,999万円	認定(全員賛成)
	簡易水道	1億1,855万円	1億1,477万円	171万円	認定(全員賛成)
	農業集落排水事業	7,445万円	7,214万円	284万円	認定(全員賛成)
	林業集落排水事業	2,240万円	2,126万円	12万円	認定(全員賛成)
	介護保険	7億1,475万円	6億7,084万円	311万円	認定(全員賛成)
	後期高齢者医療	5,723万円	5,723万円	0	認定(全員賛成)
合計	69億7,052万円	65億479万円	9,320万円		
前年対比	109.0%	107.0%	94.3%		

各会計の決算状況と採決結果

平成28年度会計決算認定審議

議案
審議

一般会計決算認定

平成28年度の一般会計は歳入52億340万円、歳出は48億3871万円となりました。歳入歳出の差引額は3億6448万円となり、翌年度への繰越事業の財源2億7860万円を差し引いた実質収支は、8608万円の黒字となりました。



討論

反対

野崎喜彦 議員

町民第1体育館建設に伴う用地の取得方法、事業の手続き等に一貫して異を唱えてまいりました。また、流鏝馬保存会の運営にかかる問題が改善されていないことなどから、決算の認定に反対いたします。

反対

岡部淳一 議員

町民第1体育館建設における規模と施設内容および予算総額について、町民に対する説明責任や合意の形成が図られておらず、人口減少対策としての雇用創出について施策の必要性があったものとして本決算の認定について反対するものであります。

賛成

緑川栄一 議員

歳入・歳出決算につきましては、当初予算および補正予算で議決された予算の措置であり、財源の確保が厳しい中で実質収支は黒字であることから、引き続き所要の財源確保と効率的な財政運営に務められるよう要望し、賛成します。

採決

賛成 9

反対 2

可決

議案
審議

国民健康保険特別会計決算認定

質疑

Q 国民健康保険の資格証明書および短期被保険者証を交付されている方が病院を受診する際に障害はないのか。

A 資格証明書でいったん自己負担10割となりますが、申請に基づいて、自己負担以外の7割に関してはお返ししています。資格証明書だから医療を受けられないということはありません。

Q いったん保険税を納付すれば一般被保険者となるのか。

A 検討委員会を開きまして、納付状況に応じて資格証明書および短期被保険者証の交付を決定しますが、その会議前に保険税を完納された場合は、一般被保険者証を発行いたします。

Q 1割になる不要残が発生しているのは、結果としてどういったことだったのか。

A 療養給付費に関する不要残は、調剤や医療機関受診などの医療費ですが、予算の段階ではどれだけ医療費がかかるか確たるものがなく、また年度ごとで開きがございますので、余裕を持たせて計上しております。

会計別		収入未済額の内訳							
一般会計	町	税	2,794万円						
	保	育	料	138万円					
	給	食	費	28万円					
	住	宅	使	用	料	540万円			
	負	担	金・貸	付	金	等	43万円		
特別会計	国民健康保険	保	險	税	4,999万円				
	簡易水道	水	道	使	用	料	171万円		
	集落排水	集	落	排	水	使	用	料	296万円
	介護保険	保	險	料	311万円				
	後期高齢者医療	保	險	料	0万円				
合		計	9,320万円						

税金・使用料 の滞納額



わが町の 一般会計分 貯金と借金

借金の種類		借入金は元金です。	
区分	28年度末残高	昨年度増減	算入率
一般公共事業債	5,050万円	0	50%
公営住宅建設債	3,105万円	△997万円	0%
災害復旧事業債	1,027万円	△408万円	～95%
義務教育整備債	844万円	13万円	～70%
一般単独事業債	6,126万円	△2,338万円	～50%
過疎対策事業債	28億1,778万円	5億2,361万円	70%
辺地対策事業債	6億7,499万円	△2,903万円	80%
財源対策債	625万円	△410万円	100%
臨時財政特例債	388万円	△371万円	100%
減税補てん債	1,843万円	△440万円	100%
臨時税収補てん債	133万円	△262万円	100%
臨時財政対策債	14億4,885万円	△5,665万円	100%
計	51億3,303万円	3億8,580万円	

貯金の種類		積立基金	
区分	28年度末残高	昨年度増減	
財政調整基金	10億54万円	△3,046万円	
減債基金	6億6,899万円	1億647万円	
文教厚生施設等基金	14億6,048万円	△4億5,325万円	
ふるさと創生基金	7,211万円	△2,927万円	
さわやか福祉基金	1億5,425万円	0	
計	33億5,637万円	△4億651万円	

運用基金			
区分	28年度末残高	昨年度増減	
土地開発基金	1億円	0	
優良雌牛導入事業基金	5,430万円	△69万円	
奨学基金	6,876万円	42万円	
計	2億2,306万円	△27万円	

条 例 等 ・ 予 算

議案 審議 一般会計第2次補正予算

歳入歳出それぞれ1億9721万円を増額し、53億3579万円とする補正予算。旧古殿保育所解体工事にかかる設計委託料300万円、電力柱の移設等に伴う光ケーブル移設費用785万円などが主なもので、三株山頂富士見台改修関連経費3448万円については、地方創生交付金の活用を視野に入れ、予算の組み替えを行いました。

質疑

Q 旧古殿保育所解体工事については、この補正の段階では解体後の方向性は白紙の状態か。

A 解体後の土地の活用等については現在固まっております。

Q 解体後の土地の利用として、竹貴区の方から要望等は聞いているか。

A 今のところそういった声は聞いておりません。

Q 三株山頂富士見台改修経費の予算組み替えについての説明は。

A 当初は町単独費で予算を計上していましたが、地方創生拠点整備交付金の募集が年度途中にあつたことから、補助金の要望をするため、予算の組み替えをしました。



三株山から見える富士山

議案 審議

財産取得について

町民第1体育館において使用する事務用備品

契約金額 627万円

契約の相手方

郡山市富久山町久保田字愛宕石乃番地

(株)共栄フレーション 郡山店

店長 高橋 宏幸

質疑

Q 入札に町内の業者が入っていない理由は。

A 指名競争入札を行いました。町内の業者からは指名願いの届出が出されておりませんでした。

議案 審議

財産取得について

町民第1体育館において使用する運動用具備品

契約金額 1723万円

契約の相手方

会津若松市白虎町114-2

(有)タナカスポーツ

代表取締役 田中 淑雄

質疑

Q 備品一式とは何を指すのか。

A スコアボード、バレーボール関係の審判台一式、卓球台、柔道の名札かけやタイマー、全10点の組み立て費用も含んでございます。

Q これまで使用していた備品も使ったうえで新しい備品を購入するのか。

A 使えるものは新しい体育館になっても使う考え方で、今回の備品に関しては体育館に新しく必要だということで購入いたします。

その他可決された条例等 (抜粋)

非課税世帯の第二子の保育料が無料となります

古殿町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する条例の一部を改正する条例

両親世帯で住民税を課税されていない非課税世帯の第二子の保育料は、年齢によって450円もしくは2200円でしたが、無料となります。

個人情報収集が制限されます

古殿町個人情報保護条例の一部を改正する条例

社会的身分など特に取り扱いに配慮を要する個人情報収集の制限を規定し、また相続人等による死者の個人情報の開示請求についての記載を追加しました。

可決した主な

提出した意見書

◎地方財政の充実・強化を求める意見書

発議者 野崎 喜彦 議員

地方自治体は社会保障への対応など果たす役割が拡大する中で、地方版総合戦略など新たな政策課題に直面しています。その一方で人材は限られ、公的サービスの提供が困難となつてきています。

財政再建目標を達成するためだけに歳出削減が行われ、結果として必要なサービスが削減されることのないよう、2018年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、社会保障予算の充実と、地方財政の確立を目指す必要があります。

採決 全員賛成 可決

◎全国森林環境税の創設に関する意見書

発議者 佐藤 弘信 議員

森林が多く所在する市町村においては山林対策の恒久的な財源が大幅に不足しています。このことから、森林整備等に

必要な財源に充てるために、個人住民税均等割を活用して国民に負担を求める森林環境税の早期導入を強く求めるものであります。

討論

反対 岡部淳一 議員

全国森林環境税については、個人住民税に課税するものでなく、国や、環境の問題となつている企業の責任についても議論されているところです。また、県では既に賦課されているため、二重課税は住民の負担になるうえ、根本的な解決に結びつかないものとして反対します。

賛成 佐川勇司 議員

国土の7割が森林である日本にとつて、森林荒廃の及ぼす影響ははかりしれないものがあります。美しい国土を引き継いでいくことは国民の責務であり、森林・林業・山村対策の抜本的強化を図るため「全国森林環境税」の早期導入を求めるもので、賛成します。

採決

賛成 10
反対 1

可決

人事案件

教育委員会委員の選任に同意

任期満了に伴い、現教育委員会委員の鈴木茂さんおよび矢内忠徳さんを再任することに同意しました。



鈴木 茂さん
住所 松川字横川
任期 平成33年9月30日



矢内 忠徳さん
住所 鎌田字沢
任期 平成33年9月30日

人権擁護委員の選任に同意

任期満了に伴い、現人権擁護委員の鈴木一美さんを再任することに同意しました。



鈴木 一美さん
住所 松川字大原
任期 平成32年12月31日

常任委員会の活動

総務常任委員会



事業所の視察状況

町内外の事業所を視察し、事業所の概要や古殿町の雇用状況などの説明を受けて、意見交換を行いました。
現地調査後、付託された請願1件の審査を行い、採択としました。

産業建設常任委員会



町民第1体育館の進捗状況を確認

町民第1体育館や町道松久保鵬巢線などの工事現場を視察し、状況を確認しました。また、水野農場（大久田字有美）および宮田馬事（山上字宮前）を視察し、流鏝馬の馬の現況を確認しました。

平成28年度主要事業決算事務調査

常任委員会では現地調査後、それぞれの委員会で各課長より平成28年度主要事業の決算について説明を受け、事務調査を行いました。

総務常任委員会では石川消防署古殿分署の用地整備事業や町民第1体育館建築事業、産業建設常任委員会ではバイオガス発電構想検討事業や千年の森育成事業などについて、説明を受けました。



決算についての質疑応答

全 員 協 議 会



町民第1体育館の愛称を募集

ネーミングライツとは…企業等が公共施設等に企業名や商品名を付与する命名権のことで、新たな財源確保や施設の知名度、サービス向上等を図ることを目的とし、地域社会の活性化に貢献することができます。

石川消防署古殿分署の敷地内に移設される第3分団1部の消防団屯所についての説明がありました。また、9月1日より開始された町民第1体育館にかかるネーミングライツ・スポンサー募集についての説明があり、応募要件など募集要領について確認しました。

消防団屯所の移転・町民第1体育館にかかるネーミングライツ・スポンサーの募集について



一般質問は、9月13日に6人の議員が12問の質問を行いました。質疑の一部を要約してお伝えします。

町民の声を伝える

町政に生かす

町の考えをたずねる

一般質問

町政を質す

野崎 喜彦 議員 11

- (1) 少子化対策と若者の移住・定住策の取組みは
- (2) 町民第1体育館の健全な運営計画の考えは

岡部 淳一 議員 12

- (1) 現在の町の状況をどう捉えるべきなのか
- (2) 現時点で確認すべき事柄について
- (3) 町民福祉施策立ち上げ経緯とその後の経過について

藁谷 直吉 議員 13

- (1) 防災計画の見直しは
- (2) 図書館を応援するボランティアを公募しては

緑川 栄一 議員 14

- (1) 子育て支援の充実は
- (2) 定住化促進対策における宅地造成計画は

佐川 勇司 議員 15

- (1) 今後のイノシシ対策は

佐藤 弘信 議員 16

- (1) 地域おこし協力隊の募集状況は
- (2) 町民第1体育館の管理・運営は

少子化対策と若者の移住・定住策の取組みは



のざき よしひこ 野崎 喜彦 議員

町の魅力発信を継続的に

町長

県では、4月1日に現在の子ども（14歳以下）の数を発表しましたが、人数は22万1978人で、前年同期比4800人の減となり過去最少となりました。

当町でも、子どもの出生が減少傾向にあることから、対策を加速させることが喫緊の課題であり町に差し迫ったリアルな「有事」であります。

野崎 子育て支援世帯及び若者世帯への住宅取得支援等の実績はありますか。

町長 現時点での実績はありません。

野崎 当町の就学前までの子ども（0歳から6歳まで）の数は。

町長 平成29年度生まれ7人（8月末現在）、28年度17人、27年度22人、26年度27人、25年度38人、24年度30人、23年度が44人で合計185人です。

野崎 地域おこし協力隊募集の現況は。

町長 第4回目の募集で応募があり、現在審査中です。



町の魅力を発信するやぶさめくん

野崎 若者の移住・定住策の促進を図るためのPR方法はどのように進められていますか。

町長 都内での移住希望者向けパンフレットの配布に加え、東京の「ふるさと回帰支援センター」とも連携するなど情報発信を行っています。

野崎 事業の実効性を高めるためのプロジェクトチームやファシリテーターの起用などの考えはないか。

町長 今後、検討してまいります。

町民第1体育館の健全な運営計画の考えは

新たなスポーツの大会・文化的なイベントの開催を

町長・教育長

町民第1体育館は、あと半年ほどで竣工予定ですが、町民は大きな関心を持っています。「流石に大きい、立派な体育館ができる」と、期待を込めた完成を望む一方で、当町の人口減に歯止めがかからない現状で「今後あのような体育館を維持していくことは容易でないだろう。大丈夫なのだろうか」と維持・管理、そして運営に対して心配する町民の声も耳にします。

野崎 ライフサイクルコストの年間金額は。
町長 年間の維持経費は約1200万円と見込んでいます。

野崎 年間の利用計画や利用者の見込み・リストは立っているのか。

町長 震災前に旧体育館で行われていたスポーツ団体等の継続利用を見込んでいます。

野崎 東京オリンピックの事前合宿場としてのエントリーは可能か。

町長 厳しい受け入れ体制の基準があり、可能性は難しいと考えます。



地区の運動会で元気いっぱいの子どもたち



おかべ じゅんいち 岡部 淳一 議員

現在の町の状況をどう捉えるべきなのか

町の景況は厳しいものと捉えています

町長

今後の町の有り様よ
うや自分の生活がどうな
るのか不安で心配だとい
う町民の声をよく聞きま
す。その状況の中で判断
材料となる各種の調査や
動態について、町がどう
認識しているのかを伺い
ながら次の点を質問しま
す。

岡部 現在の町の景況を
どう見ているのか。

町長 町内総生産は、平
成7年度に約184億円
を記録した後、全体とし
て右肩下がりであり、平
成25年度は約145億円

となつています。町民所
得は、同じ期間で1人あ
たり200万円前後の水
準で推移しており、町の
景況は厳しいものです。

岡部 人口の減少率と動
態をどう把握しているの
か。

町長 19年度から28年度
までの10年間で、954
人、率にして14・6%の減
少であり、28年度末で
5545人です。いずれ
の年も、生まれた子ども
より亡くなられた方、転
入よりも転出した方が多
くなつていきます。

岡部 町内で働く場の確
保の具体策と広域的な取
り組みは。

町長 昨年町内の求人数
は延べ224人、仕事を
探す方は延べ213人で、
実際に就職した方は44人
となつています。今後も、
補助金や利子補給等によ

現時点で確認すべき事柄について

住民の生活を守り、町の魅力を発信する

町長

次の事柄について今後
の見通しと見解を伺いま
す。

岡部 新しい介護予防、
日常生活総合支援事業の
現時点での状況は。

町長 新総合事業開始か
ら1年半が経過し、25名
の方が対象となつていま
す。これまでの全国律の
サービスから、多様な担
い手によるサービスとな
り、住み慣れた地域で安
心して暮らすために、地
域の実情に応じたサービ
スの提供について検討し

り、町内企業の設備投資
を促進するとともに、町
民への求人情報の周知を
図ります。

岡部 今何をなすべきと
捉えているか。

町長 引き続き、前記の
通りの施策を実施します。

ていきます。

岡部 来年度からの稲作
事業方向転換への見解は。

町長 来年度から国は、
米の直接支払交付金を廃
止しますので、来年度以
降、減収につながるかと
えます。

岡部 森林整備事業の今
後の進め方は。

町長 千年の森育成事業
による間伐、森林レー
ザー測量により、荒廃森
林の整備を進めます。

岡部 豪雨対策としてや
らなければならぬこと

は。

町長 住民の生命を守る
ため、避難場所の周知や、
豪雨が予測される際は早
期の勧告・指示が必要で
す。

岡部 町おこしに協力し
た大学生の提案はどう活
かされたのか。

町長 日大工学部の協力
で地方創生に向けた事業
に取り組んでおり、三株
山頂富士見台の「視点を
高くする」提案を受け、
富士見台改築事業に反映
しました。



秋の収穫風景

その他の質問

・町民福祉施策立ち上げ
経緯と今後の経過に
ついて

また「まち・ひと・し
ごと創生総合戦略」の策
定でも、学生の作成した
資料を基礎資料として活
用しています。

さらに、本町への移住
定住を案内するパンフ
レットを作成してもらい、
イベントや都内で配布す
るなど活用しています。



わらがや 直吉 議員
なおよし 直吉 議員

防災計画の見直しは

見直しをします

町長

町長

昨今、局地的に短時間の豪雨による災害が全国的に発生しています。予想しない、ありえない災害が発生しており、わが町でも、発生する災害であるとあります。そこで、次の点について質問します。

藁谷 町の防災計画は、見直しをしているのか。

町長 現在の防災計画は平成26年8月に策定されたものであり、今般、新しい体育館が整備されるほか、土砂災害等への対応が変更となることから、見直す方向で検討してお



現在の鮫川の中州

藁谷 最近、鮫川や大平川の河川堆砂は除去されたのか。

町長 鮫川は、県の土木

事務所が昨年、照天橋付近の河床整正および堆砂除去を行っており、今年度も実施が予定されております。

大平川は、近年、河川堆砂の除去は実施されておらず、町では県に実施を要望しているところでもあります。

藁谷 町消防団に、小型ボートとライフジャケットを配備する考えは。

町長 ボート等の配備は専門的な訓練が必要となることから、広域消防組合に対応していただきたいと考えております。ライフジャケットは、6着

藁谷 各家庭の防災受信機の保守点検はどのようにしていくのか。

町長 家庭用の個別受信機につきましては、不具合が発生した際、職員が確認のうえ、速やかに新しいものと交換しております。

藁谷 ポケベルの周波数帯を使用する防災受信機導入を参考に考えるは。

町長 現在の防災行政無線切り替え時期までにその有効性、導入コストなど、デジタル化と比較しながら、新たな防災受信機の導入を見極めてまいりたいと考えております。

図書館を応援するボランティアを公募しては

参考にいたします

町長・教育長

町が第6次振興計画に掲げる「豊かな心を持つ人づくり」のためには、図書館の本を多くの町民の方々に読んでもらうことが最適であると考えています。

藁谷 土日、図書館開館を応援するボランティアを公募する考えは。

しかしながら、町ではいまだに図書館が土日開館しておりません。

町長 現在、次年度から試験的に図書館の土日開館を行うことを検討中であり、ボランティアの公募という意見も参考とさせていただきます。

そこで、次の点について質問します。

藁谷 公民館に図書館の表示をする考えは。

町長 検討したいと考えております。

藁谷 図書館の相互利用協定に加盟しているのか。

町長 本町の図書館は加盟しておりません。

藁谷 町のホームページに、他市町村の図書館にリンクするシステムを構築する考えは。

町長 現時点で町のホームページとはリンクしておりません。他市町村の図書館のホームページについては、検索しただけで、直接閲覧していただければと考えております。



土日開館を検討中の図書館



みどりかわ えいち 緑川 栄一 議員

子育て支援の充実は

国の「人づくり革命」の教育費無償化を注視する

町長

岡部町政は、発足当初より子育て支援制度の充実に積極的に取り組んできたことと思います。近年人口減少と少子化により更なる充実が期待されており注視しております。そこで次の点について伺います。

緑川 小・中学校給食費の無償化計画は。

町長 給食費については法律に基づき、保護者に応分の負担をいただいております。

なお、子育て支援に関して、現在、国では「人づくり革命」の中で、教育費の無償化に関する議論が行われており、今後ともその動きを注視してまいりたいと考えます。

町長 昨年度、第二子を対象とした祝金を新たに創設させていただきました。しばらくは支給件数やその効果等を見守りたいと考えております。

緑川 放課後児童クラブの利用状況は。

町長 9月1日現在、84



放課後児童クラブの子どもたち

名の児童が利用しております。

緑川 児童クラブの施設建設計画は。

町長 小学校の南校舎や隣接する体育館を利用することで対応しており、新たな施設建設の考えはございません。

緑川 児童クラブの職員配置状況は。

町長 現在、児童クラブ指導員として6名の臨時職員を配置しております。



有効活用が望まれる遊休地

定住化促進対策における宅地造成計画は

現時点で具体的な計画は立っておりません

町長

古殿町の人口は、今年度中にも、5000人を下回る可能性が現実化しております。若者世代においては、家を建てたくても場所がなく、町外に建設したとの話も聞かれます。人口流出抑制のためにも宅地の造成が急務と考え、次の点について伺います。

緑川 現在町の宅地造成計画は。

町長 旧菱岩団地の宅地造成計画については、東側に隣接する山林ががけ地であり、建築について制限を受けることから、対応について検討を進めているところであります。

緑川 町管理地等の民間売却計画は。

町長 町で活用する計画がない遊休財産については、売却を検討してまいりたいと考えております。

緑川 農業集落排水施設の空き容量は。

町長 集落排水施設の汚水処理量は、古殿地区・田口地区とも計画処理能力の7割程度であり、空き容量が処理能力の3割程度ございます。



さがわ ゆうじ 議員
佐川 勇司

今後のイノシシ対策は

交付金活用で取り組み

町長

口頃鳥獣駆除に取り組んでおられると思いますが、町のイノシシ捕獲数は年々増加し、現在300頭近い捕獲数と聞いております。電気牧柵等の補助やわな等の設置捕獲隊の協力が成果につながっていると思いますが、近ごろ10頭以上のイノシシの群れが町中心部で何度も確認されております。今後も交付金活用と予算継続により、支援強化すべきだと思います。

ぜひ伺えます。



メッシュ柵と電気牧柵が設置された田口青柳地内（モデル地区）

佐川 7月に産業建設常任委員会で年間1600頭以上捕獲している宮城県丸森町を視察研修してまいりました。わな捕獲が90%を占めております。その中で大型箱わなが有効と聞きました。被害の多い行政区に赤外線カメラ管理の大型箱わなを導入すべきと思うがどうか。



4.0m×4.0mのセンサーカメラ付囲いわな設置
山上岩久保地内

町長 石川地方鳥獣被害防止対策協議会が国の交付金を活用し、今年7月山上岩久保地内にセンサーカメラ付の囲いわなを設置しております。

佐川 メッシュ鉄筋柵と電気牧柵の混合利用も有効と聞きます。現況と今後は。

町長 労力や費用対効果等を検証するため、国の交付金を活用し、田口青柳地内の水田にメッシュ柵210m、電気柵310mを設置しました。現時点で設置後の被害報告はなく今後は柵の設置を進めます。

佐川 イノシシの捕獲はわなが有効であり、設置技術に左右されると丸森町研修で説明を受けました。有資格者に対して経験談を含めた技術講習会開催はどうか。

町長 イノシシ捕獲数の増加に向けて、講習会を開催してまいります。

佐川 前回の質問でカワウ同様サギ駆除にも報奨金の対応すると回答がありました。また、ハクビシンの被害もかなり増加しています。この駆除奨励も検討すべきですが、どうか。

町長 サギにつきましては、鮫川漁業協同組合が今年から捕獲者に対し1羽あたり千円交付します。また、ハクビシンには町で小型箱わなを準備しており、町民に対しては、これを活用した捕獲のご協力をお願いします。





さとう ひろぶ 議員
佐藤 弘信

地域おこし協力隊の募集状況は

応募がありました

町長

全国各地で、地域おこし協力隊が地域の暮らしの支援、地場産業の開発や、農林水産業への従事等で活動しており、地域協力活動を通して、地域力の維持・強化を図ることを目的に大変活躍しています。

我が町でも、平成28年度から募集していますが、その募集状況を伺います。

佐藤 今までのくらの募集期間を設定し、応募状況はどのようになっているか。

町長 平成28年度に2名から応募があったものの、採用までは至りませんでした。今年の4回目の募集で応募がありました。

佐藤 募集条件は、近隣自治体を参考にしたのか。
町長 地域おこし協力隊の導入実績がある近隣自治体の条件等を参考にしました。

佐藤 町独自に協力隊員に支援策は考えられないか。
町長 国の要綱の規定に基づいた支援をさせていただきます。

佐藤 町では2名以内の募集であるが、成果等が確認できたならば、随時増員することは可能か。

町長 協力隊員の活動の成果および今後必要となる業務を総合的に判断し、検討します。

町民第1体育館の管理・運営は

従来と同じ管理方法を考えています

町長

震災で被災した町民第1体育館の建設工事も順調に進捗しており、多くの町民がオープンを待ち望んでいると思います。町では、平成30年をオープンブイヤーと位置づけておりますが、どのような事業・行事の計画として運営をしていくのか伺います。

佐藤 オープン記念行事の計画の予定はあるのか。
町長 現在検討しているところでありませぬ。

佐藤 体育館の管理面はどのようになるのか。
町長 現時点では、従来の町民第1体育館と同じ管理方法を考えています。



地域おこし協力隊募集ポスター



建設中の町民第1体育館

佐藤 町民第1体育館が完成すれば、第2体育館を解体するということがあるが、いつ頃解体するのか。

町長 新しい体育館が来年2月末に完成することから、来年度から第2体育館の解体に向けた作業を進めていきます。

佐藤 体育館のネーミング・スポンサーを3年間契約で募集することが公表されたが、3年後には新たに公募するということが。

町長 スポンサーから契約継続の要望があれば優先的に交渉できることとし、継続の要望がない場合には新たに公募します。

追跡レポート

その後 どうなった？

テーマ ふるさと納税制度を活用した特産品PR

Q 平成27年3月一般質問から

ふるさと納税制度の活用は

A 町長答弁

現在、寄付をいただいた方に返礼品は行っておりませんが、今後、総合的に考えていきます。



古殿町の良さを全国に

その後の
対応

平成29年9月15日よりふるさと納税の返礼品として町の特産品が贈られます



道の駅ふるどのオリジナル詰め合わせ



全国新酒鑑評会で
金賞を受賞している地酒



しみもっちー

平成27年の中学生議会で提案されて
誕生した「凍み餅」のキャラクター

古殿町の特産品をPRできるね!

みんなのページ

No.32

今回紹介するのは、イノシシ対策自我型林業家 大久田字石神在住
「山田亮一」さんです。



飯坂温泉ギャラリー梟（ふくろう）にて展示販売中
左・本人 山田亮一さん 右・館長 佐藤光衛さん



ふるどのに移住して2年
人のご縁に感謝します

民家周辺の山林整備

*古殿町にどうして移住しようと思われましたか。

私は群馬県富岡出身ですが、3人の子どもが自立したのを機に、自分が生かされていることに対して恩返しをしたいと思い、2005年から各地の災害復興関連工事に従事していました。

そんな時、2015年一般カービングショーに出場したご縁でこの町に住むことになりました。

林業の仕事をして、イノシシ被害と荒れている山林の現状を知り、民家周辺の山林整備をしてイノシシの隠れ場をなくすことや、チェーンソー彫刻をしながら元気な森づくりのお手伝いができればと思っています。



チェーンソーアート彫刻作品

*移住して古殿町の感想はどうか。

この町のどこにいても、常に居心地が良いと思っています。毎日が楽しいですし、この地に感謝です。

チェーンソーアート彫刻の見学も自由ですので、興味のある方は是非お立ち寄りください。

*自然食のおすすめ

私は20年前から1日1食にしています。自然食が好きで、いろいろな食事づくりに取り組んでおり、おかげさまで健康です。今回は「人参入り刺身こんにゃくと寒天デザート」を紹介します。



自然食（人参入り刺身こんにゃくと寒天デザート）

“町政を知るよい機会”
議会を傍聴してみませんか

次回の
定例会

12月上旬

古殿町のホームページからもご覧いただけます。

古殿町 検索 → 町議会へ

ふるどの議会だより 第141号
平成29年10月20日発行

18